

日医FAX ニュース



日医FAXニュース
編集・発行：日本医師会(03-3946-2121)

■ 超高齢社会「福祉的支援の充実」が重要

— 日医・松本会長 —

日医の松本吉郎会長は7月11日、兵庫県姫路市で災害医療などをテーマに講演し、今月1日に開催された内閣府の「第45回中央防災会議」で医療を代表する立場から、「超高齢社会の下で、福祉的支援などの充実を図ることは非常に重要だ」と発言したことを報告した。

JMAT（日医災害医療チーム）の構成メンバーについて、平時から地域包括ケアや介護・福祉に関わっている医師・看護職員などが基本とした上で、「多様なニーズに対応するため、福祉などさまざまな職種との連携や、指揮系統に従った活動が必須」との考えを示したことも明かした。

講演では1995年に発生した阪神・淡路大震災を振り返り、「日本の災害医療の原点となった」と指摘。その後の災害においては、兵庫県医師会は多数のJMAT派遣や、統括JMATによるチームの配置調整・指揮を担うなど「医師会の災害医療活動を牽引する大きな力となっている」として、謝意を示

した。

日医の災害支援の最終目標は、「被災地に地域医療を取り戻すこと」だと強調。平時からの災害対策として、JMAT体制の強化や国への働きかけなど、さまざまな取り組みを進めていることを紹介した。

次の大規模災害や、新興感染症の発生・蔓延への備えについても話した。JMATの災害医療支援活動のために感染対策研修を実施したり、地域で発熱外来を担う診療所を増やすため日医でモデル研修を実施したりしていると説明。10月には、各地で研修を企画・実施するリーダーの養成研修を行う予定とした。

● 「参院選で医療の代弁者を国政に」

一方、「骨太の方針2025」では、歳出改革の中での「引き算」ではなく、物価・賃金対応分を「加算する」という「足し算」の論理となったことを説明。その上で「これを実現させるには、今月の参議院議員選挙でわれわれ、医療の代弁者を国政に送ることが不可欠」と述べ、結束の必要性を力強く訴えた。

松本会長は「2025年度全国医師会共同利用施設施設長検査健診管理者連絡協議会年次大会」にて講演を行った。

【メディファクス】

■ 情報提供医師の要件を更新

— 診療未実施の訪問リハ —

訪問リハビリテーション（予防を含む）に関して、別の医療機関の医師からの情報提供に基づいて計画作成などをした場合に

適用される介護報酬の「診療未実施減算」について、厚生労働省は、情報提供する医師の要件を見直した。医師が修了する必要がある「適切な研修」に、日医による今年度の「かかりつけ医とリハビリテーションの連携」を追加した。

訪問リハビリテーションは事業所の医師が利用者を診察し、計画を作成して提供するのが原則となっている。やむを得ない理由で事業所の医師が診察せず、別の医療機関の医師からの情報提供に基づいて計画作成などをした場合は、基本報酬から50単位が減算される。

7月9日付の事務連絡で自治体に周知した。事務連絡の題名は「『令和6年度介護報酬改定に関するQ&A (Vol.15) (令和7年7月9日)』の送付について」。

【メディアファクス】

■ コロナ定点1.97に増

— 6月30日～7月6日 —

厚生労働省は7月11日、2025年第27週（6月30日～7月6日）の新型コロナウイルス感染症の発生状況を公表した。全国の定点当たり報告数は1.97で、前週の1.40から増加した。総報告数は7615人であり、前週から約2200人増えた。

都道府県別の定点当たり報告数は、沖縄が16.36で最多。次いで山梨(3.26)、千葉(3.11)となった。

基幹定点医療機関（全国約500カ所）からの届け出に基づく入院患者は616人だった。

【メディアファクス】

■ 伝染性紅斑2.13に減少

— 6月23～29日 —

国立健康危機管理研究機構（JIHS）は7月11日、感染症週報の第26週（6月23～29日）を公表した。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2.13で前週から減少したが、過去5年間の同時期の平均と比べて「かなり多い」状況が続いている。

都道府県別に見ると、山形が5.50で最多。次いで群馬(5.16)、栃木(4.74)だった。

水痘の定点当たり報告数は0.55で前週から増加。過去5年間の同時期の平均と比べて「かなり多い」状況となっている。

【メディアファクス】

■ ARI定点、50.58に減

— 6月23～29日 —

国立健康危機管理研究機構（JIHS）は7月11日、2025年第26週（6月23～29日）の「急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランス週報」を公表した。全国の定点当たり報告数は50.58で、前週の51.93から減少した。総報告数は19万4889例で、前週から約5100件減った。

全国3853カ所の定点医療機関から報告があった。都道府県別に見ると、埼玉が73.83で最多。次いで栃木(73.40)、群馬(72.47)となった。

【メディアファクス】

【お知らせ】

本日の日医FAXニュースは2ページでの配信となります。ご了承ください。

日本医師会広報課